

授業科目名： 肢体不自由教育指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 伊藤甲之介・徳永亜希雄 担当形態： オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	特別支援学校での担任の経験、病院での医療ケアの研修の経験、教務主任の経験からの教育課程や教育相談、教頭、副校長、校長等の経験や教育委員会での学校開設等の経験。		
科 目	特別支援教育領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：肢）		
「学位授与の方針」との関係 該当なし			
授業のテーマ及び到達目標 肢体不自由のある児童生徒（以下、肢体不自由児という。）の状態の理解及びその状態や特性及び発達段階等を踏まえた各教科等の指導方法や配慮事項など関連した事項について理解することにより、肢体不自由児の教育課程の編成やカリキュラム・マネジメントの考え方など学校教育における指導や支援全般にわたる知識の理解と態度の育成を図ることを目標とする。			
授業の概要 関係法規や学習指導要領等を踏まえながら、次のことについて学ぶ。 （１）肢体不自由児の教育における教育課程の編成等及び関連事項について学ぶ （２）肢体不自由の障害特性及び発達に段階等を踏まえた各教科等の指導について学ぶ （３）自立活動の指導の意義と指導プロセスについて学ぶ			
授業計画 第1回：肢体不自由児の障害特性の理解と教育課程の意義（担当：伊藤） 第2回：肢体不自由の状態等に応じた教育内容の選択と配列について（担当：伊藤） 第3回：各教科等の指導に関する教育課程の編成と配慮事項とカリキュラム・マネジメント（担当：伊藤） 第4回：肢体不自由児の障害特性を踏まえた各教科等の指導の手立て・配慮の工夫①（担当：伊藤） 第5回：肢体不自由児の障害特性を踏まえた各教科等の指導の手立て・配慮の工夫②（担当：伊藤） *①②で複数の各教科等について考えること 第6回：個別の指導計画の作成と内容の取扱い（担当：伊藤） 第7回：知的障害を併せ有する児童生徒の指導の特徴と各教科等の指導の手立て・配慮の工夫（担当：徳永） 第8回：障害が重度な肢体不自由児の教育課程と考え方（担当：徳永） 第9回：自立活動の指導の意義と指導の基本（担当：徳永） 第10回：自立活動の指導とその実際①（自立活動の時間における指導に着目して）（担当：徳永） 第11回：自立活動の指導とその実際②（自立活動の指導における指導と各教科等の指導との関連に着目して）（担当：徳永） 第12回：自立活動の指導に活用される理論・技法について（担当：徳永） 第13回：肢体不自由児への支援機器等の活用や教材・教具の工夫（担当：徳永） 第14回：進路指導やキャリア教育の視点からの指導・支援（担当：伊藤） 第15回：インクルーシブ教育システムと合理的配慮（担当：伊藤） 定期試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 安藤隆男、藤田継道(2022)『よくわかる肢体不自由教育』ミネルヴァ書房、978-4-623-07250-7 斉藤正志(2021)『肢体不自由の子どものための生活単元学習』明治図書、978-4-18-231412-4			
参考書・参考資料等 文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)』 https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afiedfile/2019/02/04/1399950_5.pdf 文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部)』 https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_tokubetu01-100002983_1.pdf 文部科学省「障害のある子供の教育支援の手引」 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			